



田布施町では毎年、『思い出に残る成人式』と、新成人が中心となって成人式実行委員会を立ち上げています。20歳という節目にあたり、成人式実行委員会のメンバーから寄せられたメッセージを紹介します。

成人を迎えたみなさんへ

成人式実行委員会

道田 竜一

成人おめでとうございます。
これからの皆さんのご活躍を期待しています。

田中 柁至

成人おめでとうございます。
お互い切磋琢磨しあいましょう。

今津 拓哉

成人おめでとうございます。
お互い頑張りましょう。

西山 甚耶

成人おめでとうございます。
社会人の人も、学生の人もいると思いますが、お互いに頑張っていきましょう。

北村 優衣

成人おめでとうございます。
これからのみなさんの人生が輝かしいものでありますように。

原田 晃司

成人おめでとうございます。
これからは、みなさん成人という自覚を持ち、日々精進していきましょう。

桜井 遥

成人おめでとうございます。
このように皆さんと一緒に20歳という節目の年を迎えられて、大変うれしいです。
皆さんに幸多い人生が訪れることを祈っています。



私たちと人権シリーズ No.127

似て非なる言葉

田布施町立城南小学校長

堀川 勝祥

以前、勤めていた職場で次のような話を聞きました。

自治会のお世話をしていた人が、地区で集金したお金を納めるため、ある市役所の窓口を訪れたときのことです。集めたお金と納入書類を窓口で提出したところ、その書類にまちがいがあることがわかりました。対応した窓口の職員は、そのことを次のような言葉で伝えました。「このところ、うそをやったよってじゃから直してくださいね。」書類を提出した人は、「うそをついたわけじゃないが……」と言いかけてましたが、まちがえたのは自分なので、書類とお金を一端、持ち帰り、確認して直すことにしました。

しかし、市役所を出たところ



で、うそをついたわけではないことだけは伝えておきたいと、窓口に引き返しました。そして、先ほど対応した職員に「わしは、うそをついたわけじゃないんじゃないか」と伝えました。すると、忙しそうにしていたその職員は、「そうそう、ここがうそじゃけえ、いけんのすいね。」と言ってしまったので、さあ大変。その人は、たまたまその職員にくつてかき、トラブルになっしまいました。

『うそ』と『まちがい』、一見、似ているようにも思えますが、言葉の意味や印象を整理してみると真反対で、似て非なる言葉であることが分かります。

『うそ』は、意図的な行為ですが、『まちがい』には意図も自覚もありません。また『うそ』は、ついてはならないもの、場合によっては許されない行為ですが、『まちがい』は、誰もがすることです。

自分が発した言葉が相手にどのように伝わるかを正確に把握することは難しいことです。だからこそわたしたちは、さまざまな経験を通して言葉に配慮できるように心がけ、周りの人と気持ちのよいコミュニケーションをとっていききたいものです。



成人おめでとうございます！

いくら悩んでもいいから、後悔しない選択を

元気に頑張っていこう

自分を信じて、自分に負けず！

今まで出会った人に感謝。

今を大切に。

何が起こるか分からない人生をワクワクしながら楽しんで歩めたらなと。

またみんなに会えて嬉しい。

キミに幸あれ☆

いつもありがとう これからもよろしく

(茶話会冊子より抜粋)